

- 問1 アメリカ合衆国と中国の農業生産における共通点や特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. 中国では、降水量の多い華南地域を中心に小麦の生産が集中しており、輸出の拠点となっている。
 2. アメリカ合衆国のグレートプレーンズは、東部沿岸の都市に近いことから、生鮮野菜を供給する近郊農業の適地となっている。
 3. アメリカ合衆国では、トウモロコシの主な生産地域を挟むように、その南北の地域で小麦の生産が盛んに行われている。
 4. アメリカ合衆国と中国はともに、国内の食料自給を目的とした小規模な家族経営の農家が、全生産量の大部分を占めている。
- 問2 北アメリカ州では、人口の割合（約7.6%）に比べて穀物生産量の割合（約18.2%）が突出して高くなっています。このように、北アメリカ州が世界有数の食料供給地となり得ている背景として、農業の仕組みの面から説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 広大な土地で大型機械を効率的に使い、少ない労働力で大量に生産する企業的な農業が行われているため。
 2. 乾燥した地域が多いため、オアシスや河川の周辺で自給を目的とした伝統的な農業が行われているため。
 3. 熱帯の気候を生かし、先進国の資本や技術を導入して特定の農産物を栽培するプランテーションが中心であるため。
 4. 人口密度が高いため、限られた土地に多くの労働力を投入する集約的な稲作が行われているため。
- 問3 主要国の電源構成を比較した統計資料において、火力発電が約68.6パーセントと大きな割合を占め、次いで原子力発電が約19.2パーセント、水力発電が約6.3パーセントとなっている国はどこですか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 日本
 2. カナダ
 3. フランス
 4. アメリカ合衆国
- 問4 世界の主要な農産物統計において、アメリカ合衆国は生産量・輸出量ともに世界で極めて高いシェアを占めています。特に、家畜の飼料やバイオ燃料の原料としても広く利用され、世界の輸出量においてアメリカ合衆国が圧倒的な割合を占めている穀物はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 小麦
 2. 米
 3. とうもろこし
 4. コーヒー
- 問5 アメリカ合衆国の中央部に位置する中央平原からグレートプレーンズにかけての地域では、広大な土地を活用した大規模な農業が行われています。この地域のうち、中央部の南北に伸びる地帯でトウモロコシが、そのさらに北側や南側の地域で小麦が主に栽培されています。このように、それぞれの地域の気候や土壌などの自然条件に最も適した農作物を栽培する農業方式を何といいますか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
1. モノカルチャー
 2. 二毛作
 3. 地産地消
 4. 適地適作
- 問6 北アメリカ大陸のロッキー山脈より東側に広がる地形区分について、西から東へ向かって並んだ名称の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. グレートプレーンズ、中央平原、プレーリー
 2. 中央平原、プレーリー、グレートプレーンズ
 3. プレーリー、グレートプレーンズ、中央平原
 4. グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原
- 問7 アメリカ合衆国の広大な国土で見られる多様な気候のうち、西海岸南部で見られる地中海性気候の「降水量」と「農業」の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 冬の降水量が極端に少ないため、夏の豊富な雨を利用した綿花栽培が中心となっている。
 2. 北半球にありながら7月の気温が最も低いため、寒冷な気候に適したライ麦が栽培されている。
 3. 夏の降水量が非常に少ないため、乾燥に強いブドウやオリーブなどの果樹栽培が行われている。
 4. 年間を通じて降水量が多いため、広大な平原で大規模な稲作が行われている。
- 問8 アメリカ合衆国の五大湖周辺において酪農が発達した理由について、自然環境と社会環境の両面から説明したものとして適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 地中海性の気候で夏に乾燥することに加え、沿岸部の港から世界各地へ輸送しやすいから。
 2. 冷涼な気候で牧草の栽培に適していることに加え、周辺に大都市が多く存在し製品の消費地に近いため。
 3. 温暖多雨な気候で二期作が可能であることに加え、西側の広大な乾燥地帯へ製品を輸出するため。
 4. 乾燥した気候で病害虫が発生しにくいことに加え、遊牧によって広大な土地を効率的に利用できるから。
- 問9 アメリカ合衆国の南東部の州において、アフリカ系の人々の人口割合が比較的高い主な理由として、正しいものはどれですか。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
1. アラスカなどの極寒の地域から、温暖な気候を求めて人々が移動してきたため。
 2. かつて大農場（プランテーション）が開かれ、労働力としてアフリカから人々が連れてこられた歴史的背景があるため。
 3. 20世紀後半以降にアジア諸国からの大量の移民を受け入れたため。
 4. メキシコとの国境に近く、陸続きで多くの労働者が移住してきたため。
- 問10 カナダの貿易の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 機械類や自動車などの工業製品に加え、原油などの資源も輸出しており、アメリカ合衆国が最大の貿易相手国である。
 2. 広大な土地を利用した小麦や牛肉の輸出が盛んであるが、エネルギー資源には乏しいため、原油の多くを中東地域からの輸入に頼っている。
 3. 豊かな銀の産出背景に工業化が進み、現在は自動車の輸出も多いが、隣接するアメリカ合衆国との貿易額は近年減少している。
 4. 石炭や鉄鉱石、羊毛などの資源・農産物の輸出が中心で、地理的に近い中国が最大の貿易相手国である。
- 問11 カナダにおける言語や文化の状況について述べた文章のうち、その歴史的背景をふまえた説明として最も適切なものを選んでください。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
1. フランスの植民地から独立したため、公用語はフランス語のみであるが、経済的な理由から英語も広く使われている。
 2. イギリスの植民地のみであったため、英語のみを公用語としているが、近年は移民の影響でスペイン語の話者が急増している。
 3. 先住民の文化のみを国家の基盤としており、ヨーロッパ諸国の言語は公用語として認められていない。
 4. イギリスとフランスの植民地であった歴史から、両言語を公用語とし、看板などの表記においても二つの言語が併記されている。
- 問12 アメリカ合衆国の農業において、地下水を利用した「センターピット方式」が抱えている現代的な課題として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 地下水の過剰な汲み上げによる、水資源の枯渇や地盤沈下の懸念
 2. 山岳地帯の急斜面を切り開くことによる、土砂崩れのリスク
 3. 多雨による土壌の流出と、それに伴う肥料の流亡
 4. 手作業による労働力の確保が困難なことによる、生産コストの増大

答え合わせ・解説

問1	答え 3 アメリカ合衆国では、トウモロコシの主な生産地域を挟むように、その南北の地域で小麦の生産が盛んに行われている。	アメリカ合衆国の中部地域では、中央平原を中心にトウモロコシの生産が集中し、乾燥が強まる西側のグレートプレーンズや、気候が異なる南北の地域に小麦の生産地が分布しています。一方、中国では「南稻北麦」と言われるように、比較的乾燥している東北部や華北の平原地域で小麦やトウモロコシが、温暖湿潤な南部で稲作が盛んに行われています。いずれも広大な国土を活かした適地適作が進んでおり、家族経営というよりは、企業的な大規模経営や大規模な集約農業が特徴です。
問2	答え 1 広大な土地で大型機械を効率的に使い、少ない労働力で大量に生産する企業的な農業が行われているため。	北アメリカ州、特にアメリカ合衆国などでは、気候条件に合わせた「適地適作」が行われるとともに、航空機による農薬散布や大型トラクターの導入など、高度に機械化された大規模な商業的農業が展開されています。これが、自国の人口を養うだけでなく、世界中に穀物を輸出できる要因となっています。
問3	答え 4 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、自国で産出される石炭や天然ガス（シェールガスを含む）を背景に、火力発電が電源構成の約7割を占めています。同時に、原子力発電も約2割と重要な役割を果たしているのが特徴です。これに対し、フランスは原子力発電が約7割、カナダは水力発電が約半数を占めており、日本は東日本大震災以降の原子力発電所の停止等の影響で火力発電が9割弱に達しているという違いがあります。
問4	答え 3 とうもろこし	アメリカ合衆国は世界最大の農業国の一つであり、特に中央平原の「コーンベルト」と呼ばれる地域でこの作物を大量に生産しています。統計上、アメリカ合衆国は世界全体の生産量の約3割、輸出量の約3割から4割を占めることがあり、国際的な価格決定に大きな影響を与えています。小麦も生産・輸出ともに多いですが、輸出シェアの高さや飼料・燃料としての多目的利用という点では、とうもろこしがより顕著な特徴を示します。
問5	答え 4 適地適作	アメリカ合衆国では、降水量や気温などの自然環境に合わせて、特定の農作物を大規模に栽培する体制が整えられています。トウモロコシが生産される「コーンベルト」や、その南北に広がる「小麦地帯」のように、土地の個性を最大限に活かした効率的な生産を行う仕組みが、広大な国土を持つ国々における農業の特徴となっています。
問6	答え 4 グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原	北アメリカ大陸の中央部は、西側にそびえるロッキー山脈から東の海岸線に向かって、高度を下げながら地形が変化していきます。山脈のすぐ東側には比較的乾燥したグレートプレーンズが広がり、その東側に半乾燥の草原地帯であるプレーリー、さらに東側にはより湿潤で平坦な中央平原が位置しています。この配列は西から東へ向かうにつれて降水量が増加する気候条件とも対応しています。
問7	答え 3 夏の降水量が非常に少ないため、乾燥に強いブドウやオリーブなどの果物栽培が行われている。	地中海性気候の最大の特徴は「夏季の乾燥」です。このため、アメリカ合衆国のカリフォルニア州などでは、灌漑（人工的な給水）施設を整えるとともに、乾燥に強い性質を持つブドウやオリーブ、オリーブといった果樹栽培が盛んに行われています。
問8	答え 2 冷涼な気候で牧草の栽培に適していることに加え、周辺に大都市が多く存在し製品の消費地に近いため。	五大湖周辺は冷涼な気候のため牧草の生育に適しており、乳牛の飼育が行いやすい自然環境にあります。また、周辺には大都市が集まっており、新鮮な牛乳や乳製品を供給する市場に恵まれていることも酪農が発達した大きな理由となります。
問9	答え 2 かつて大農場（プランテーション）が開かれ、労働力としてアフリカから人々が連れてこられた歴史的背景があるため。	アメリカ合衆国の南東部では、かつて綿花やタバコなどを栽培する大農場が開かれ、労働力としてアフリカから多くの人々が連れてこられた歴史的な背景があります。そのため、現在でも南東部でアフリカ系の人々の割合が高くなっています。
問10	答え 1 機械類や自動車などの工業製品に加え、原油などの資源も輸出しており、アメリカ合衆国が最大の貿易相手国である。	カナダの貿易統計では、工業国としての側面（機械類、自動車）と、資源国としての側面（原油）の両方が現れます。選択肢にあるオーストラリアは中国を最大の貿易相手とし、石炭や鉄鉱石が主力の資源国です。メキシコもアメリカとの貿易が盛んですが、原油の輸出順位や産業構造においてカナダとは差異があります。カナダは先進国でありながら、エネルギー資源の純輸出国であるというユニークな立場にあります。
問11	答え 4 イギリスとフランスの植民地であった歴史から、両言語を公用語とし、看板などの表記においても二つの言語が併記されている。	カナダはイギリス系とフランス系の住民が共存してきた歴史があるため、連邦公用語法によって英語とフランス語を対等なものとして扱っています。これは、アメリカ合衆国が「人種のるつぼ」として同化政策を進めた時期があったのに対し、カナダがそれぞれの文化の独自性を維持しながら共存を図る「文化のモザイク（多文化主義）」を重視している姿勢の表れでもあります。
問12	答え 1 地下水の過剰な汲み上げによる、水資源の枯渇や地盤沈下の懸念	センターピボット方式で利用される地下水は、数万年前の雨水が蓄積した「化石地下水」と呼ばれるものであり、自然に補充されるスピードが非常に遅いのが特徴です。大規模な開発によって、雨などによる自然補給量を上回るペースで汲み上げが続けられているため、地下水位の大幅な低下や将来的な枯渇が深刻な社会問題となっています。